



R18
ADULT
ONLY

LAST DAY



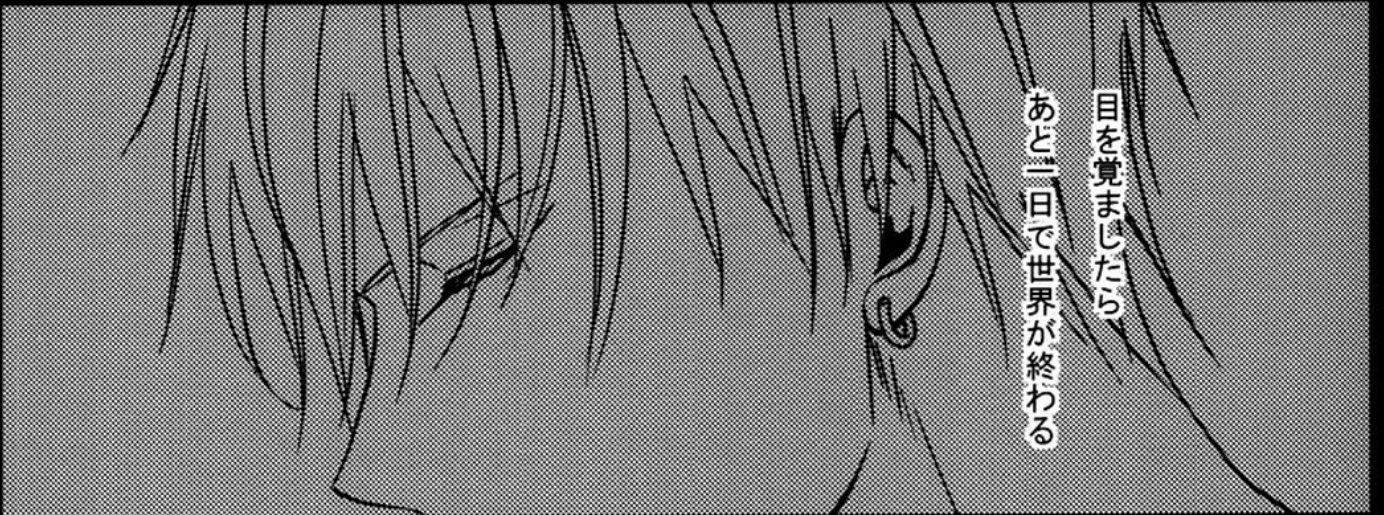
例えば

目を覚ましたら

世界の終わりまで
あと一日の世界になっていたとして

その時自分は

何をする？



目を覚ましたら
あと一日で世界が終わる



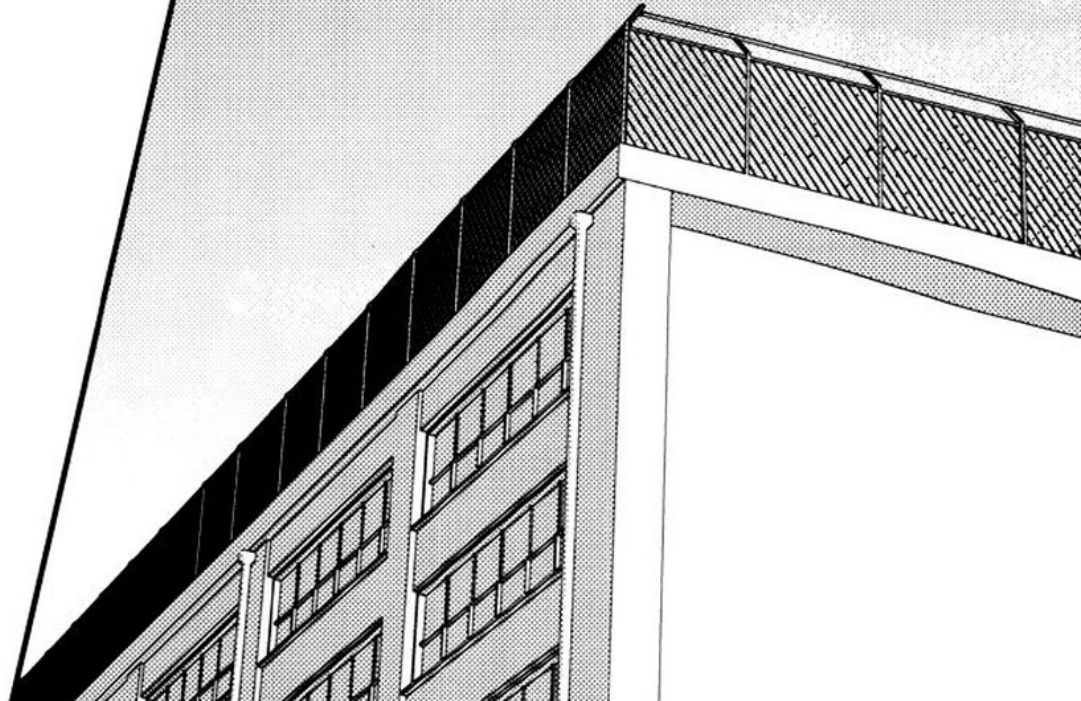
その時オレは



オレはどっつするっ..



オレは



アンタといることを

——選ぶよ



映画見てるみたいで
実感ないんスよねえ…



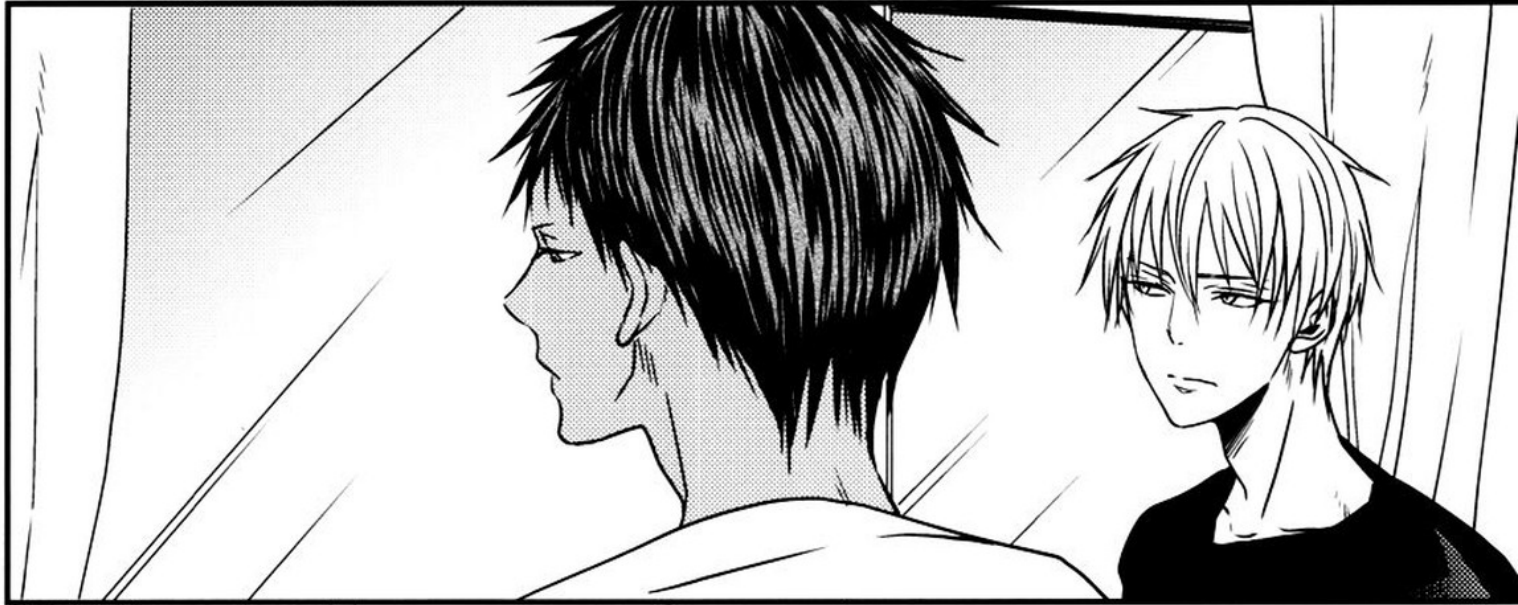
この世界は 明日 終わるといふ

ASIAN



黄瀬





青峰っちと今
どうしてこうなっているのか
自分でも
よく分かっていない





くっそー
勝てねえ!!!



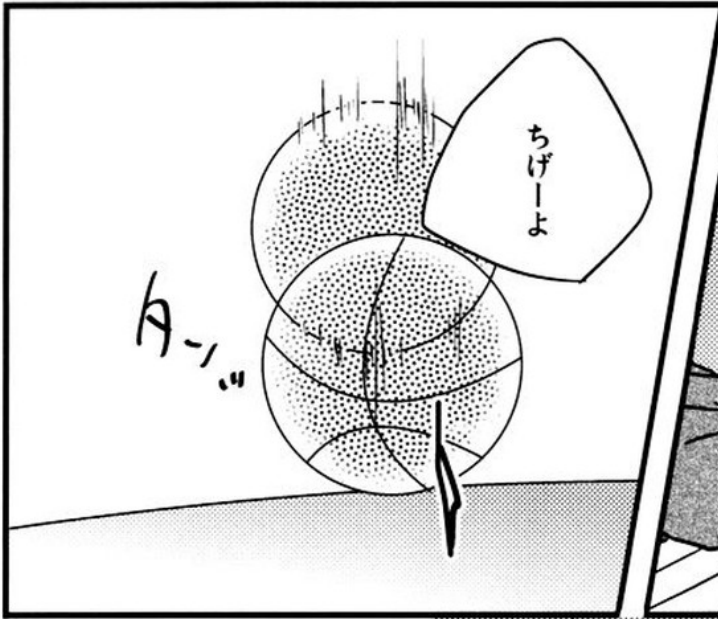
っおーッ



はっ

はあ

はっ



ちげーよ

はっ



その強さ
イミわかんねえ
っスよ

アンタ
何でそんな
強エんスカ



おめーが

弱
エんだよ

はあ

はっ





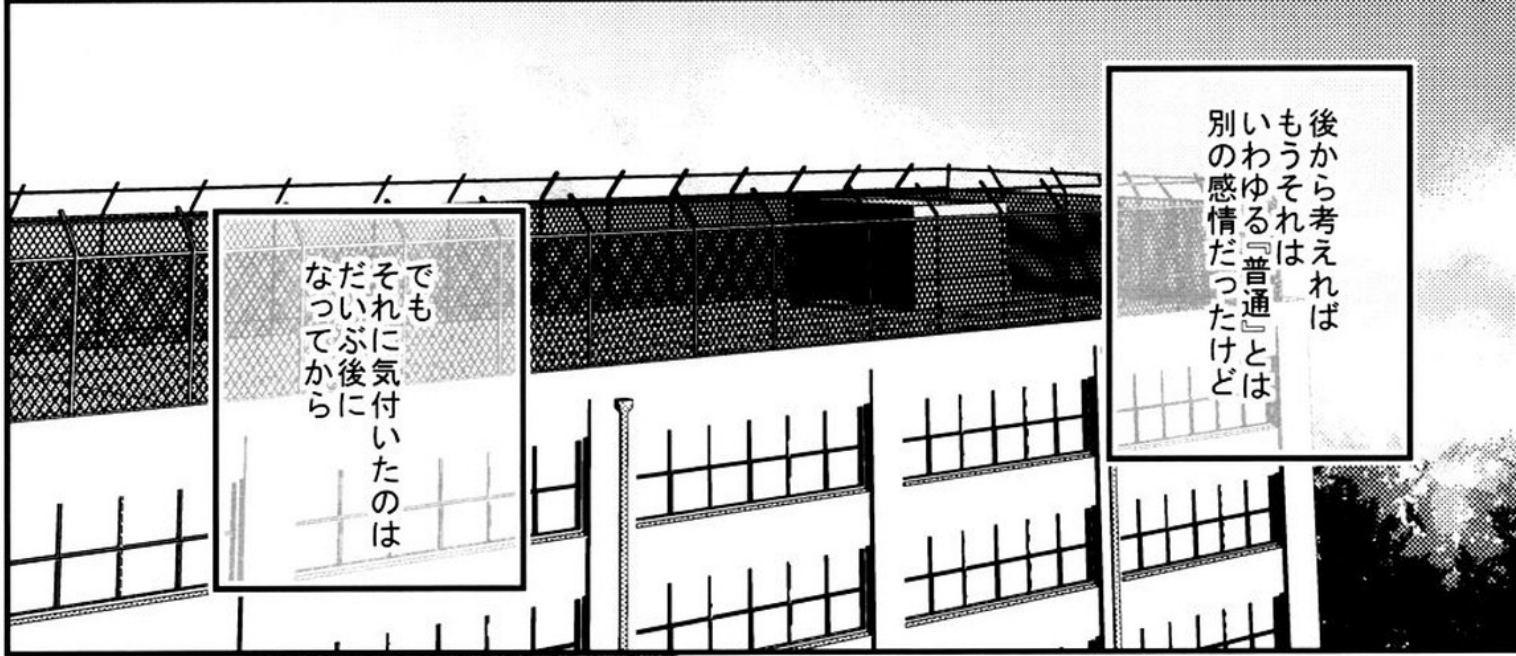
あとちよっとの
距離なら
良かったら
んだけどな…



なんでオレの手は
届かねえんだろ



なんであんな
強え人が
いるんだろ



後から考えれば
もうそれは
いわゆる『普通』とは
別の感情だったけど

でも
それに気付いたのは
だいぶ後から
な

覚えているのは



眠る
青峰
っちの
横顔



ぬけるような
青い空と



良く寝てる...



ん...

あ



意外とまつげ
長いんすね...

ギーン

フーン

カシッ



なんだよ...

...



あ...

オレ
アンタのこと

すっげえ
すき

かも

きゅこ

多分あれが

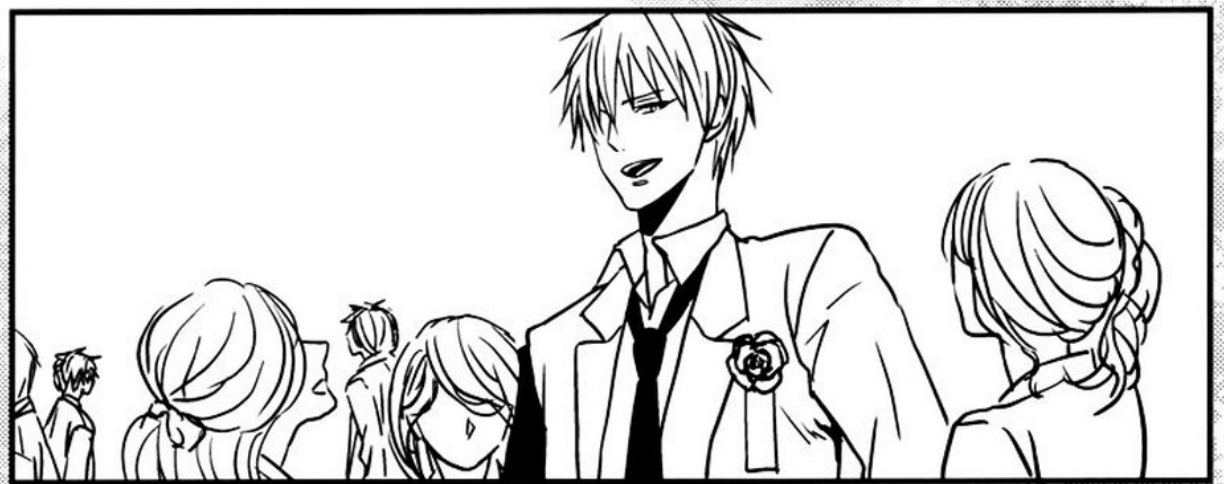
はじまり

そんな風に始まった
想いは

そのまま
何事もなく
例年の開花時期よりも
早々に咲いた桜のように
中学卒業とともに散った

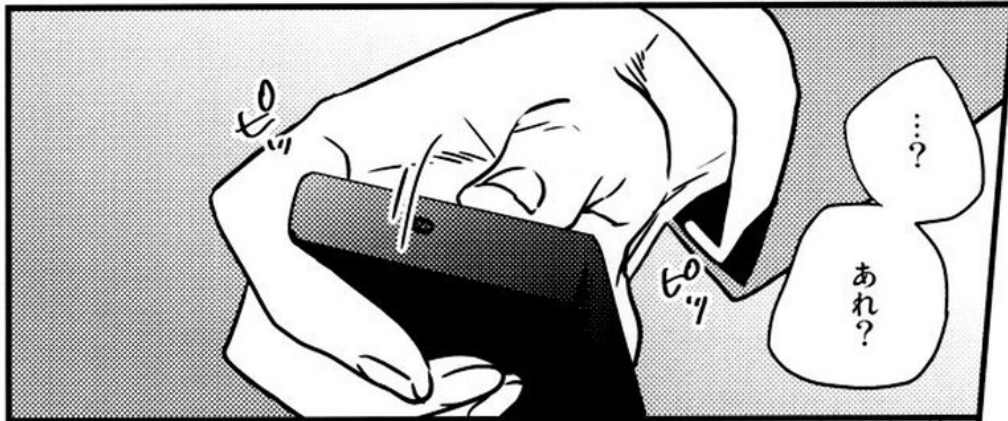
年度
書授式

3月31日をもって
オレたちは
帝光中学を卒業





別々の高校へ進学した

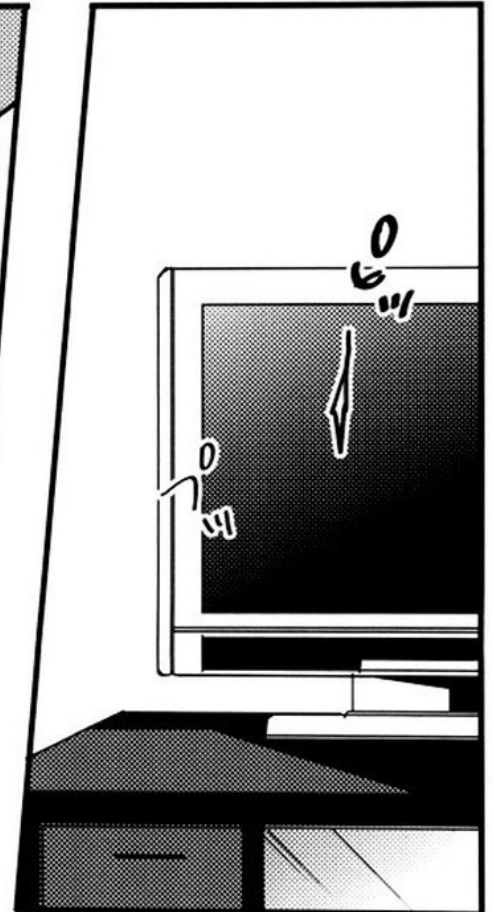


あれ?

...?



うわ...最悪もーテレピもダメかあ...



ガッコ
誰かいるんスカね…？

世界の終わりを
告げられた瞬間から
世界中が
パニックになった

生存率が高いと
根拠もなく
言われる地域へ逃げる人

自暴自棄の
暴動を起こす人

妙な宗教家が
まくしたてる言葉に
すぎる人

親族もクラスメイトも
先生も医者も政治家も
みんなもう
ここにはいない

でもオレの日常は
変わらない

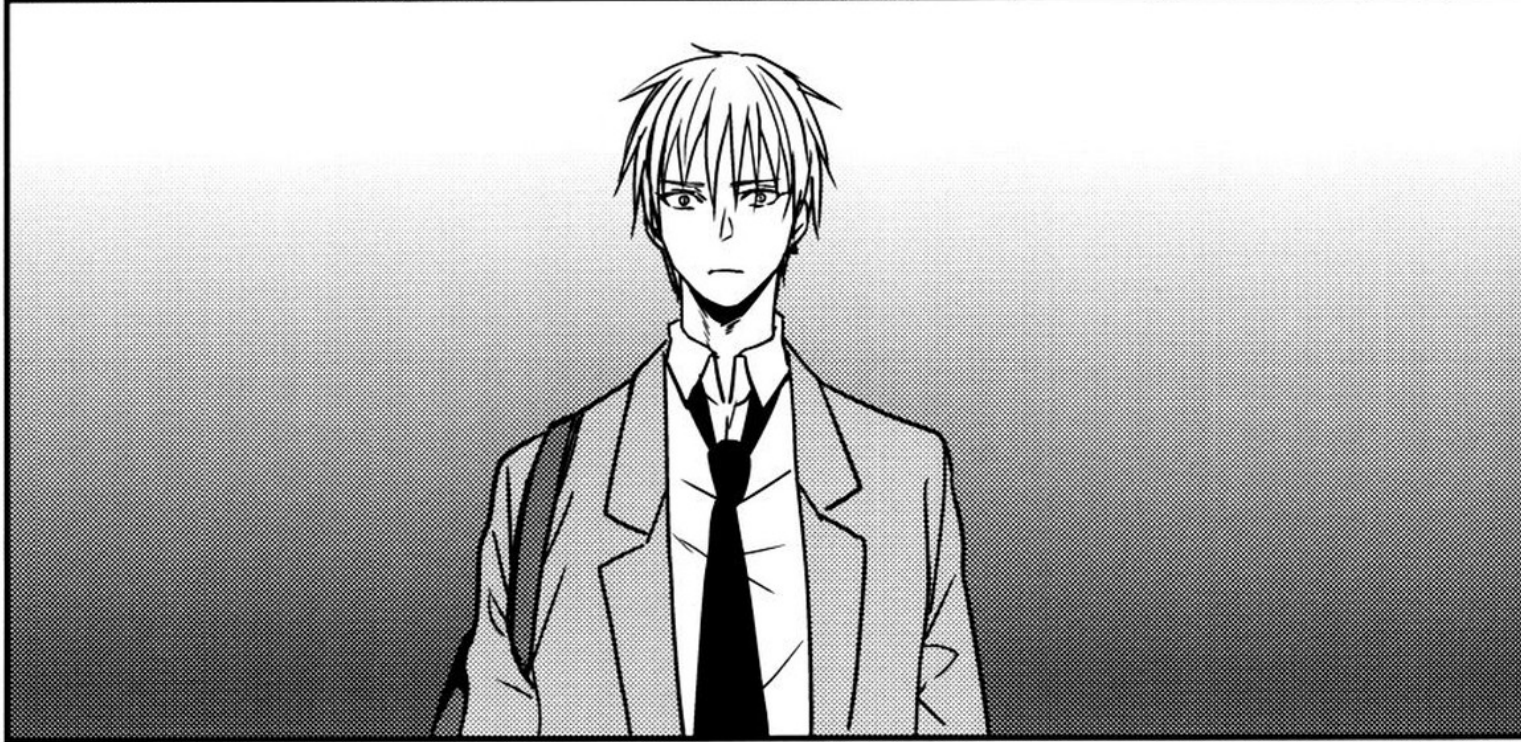
ガッコ行って
バスケットして
まあ行っても
誰もいないんだけど

だって騒いでも
仕方ないんスもん

会いたい人は

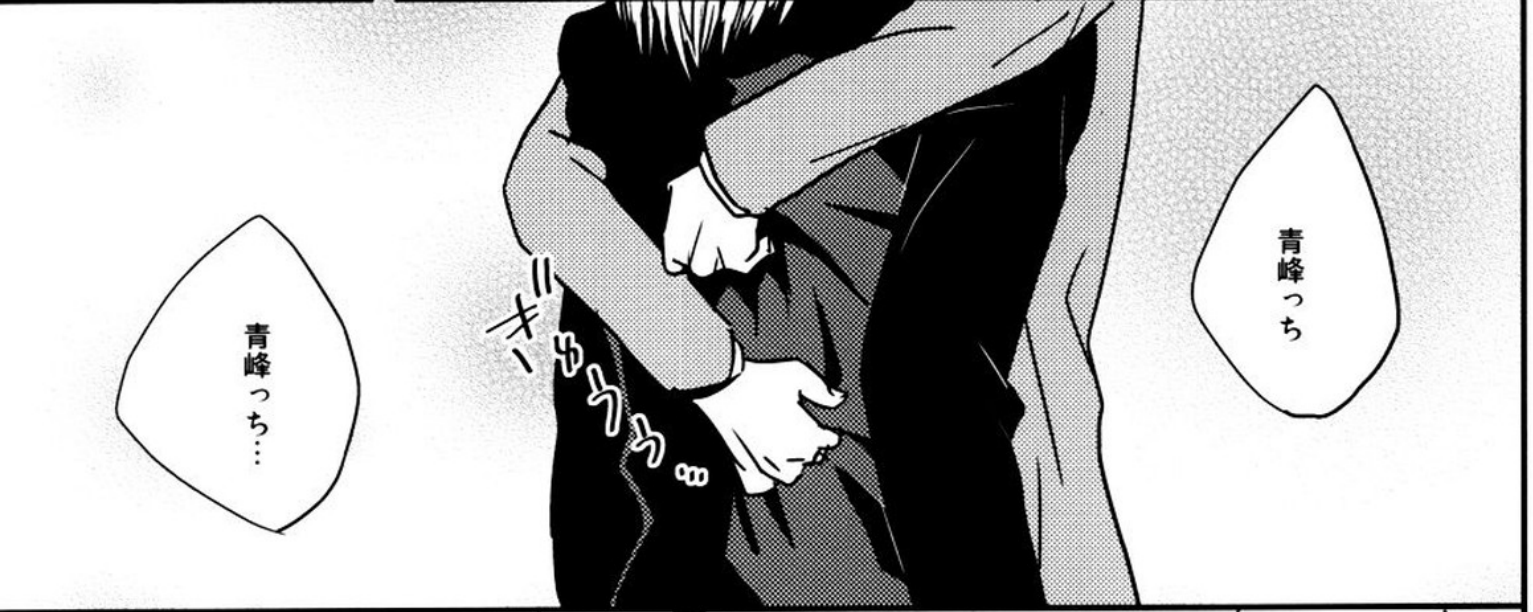
多分もう
ここにはいない

めずらし…
まだ残ってる
いたんだ…





青峰っち



青峰っち…

青峰っち

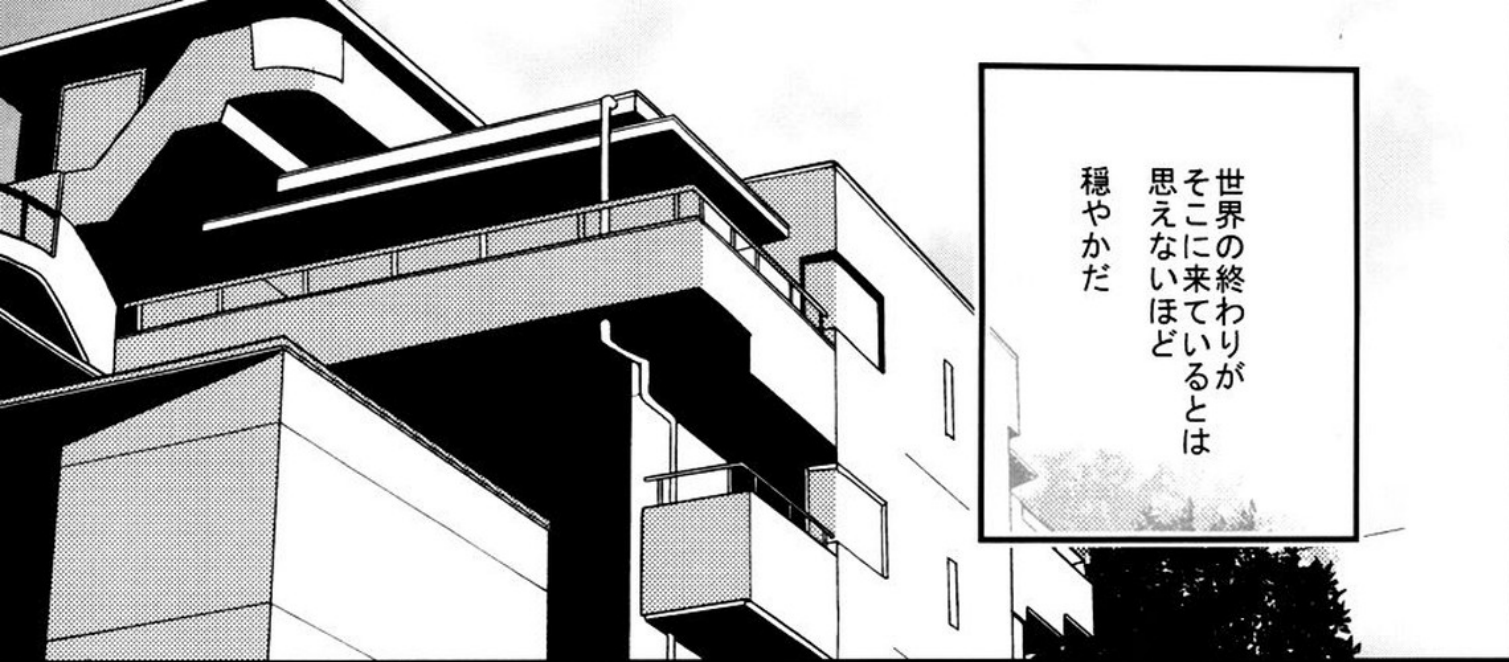


お…



会いたかった…っ！





世界の終わりが
そこに来ているとは
思えないほど
穏やかだ



何もせずに
だらだら過ごすか
バスケをする
だけの毎日

誰もいなくて
退屈だったという
青峰っちと
久しぶりに
バスケをした



でもそれも
すぐに飽きた

ゲーム

本格的に
治安が悪くなって
外出ができなく
なってきたら
部屋で映画



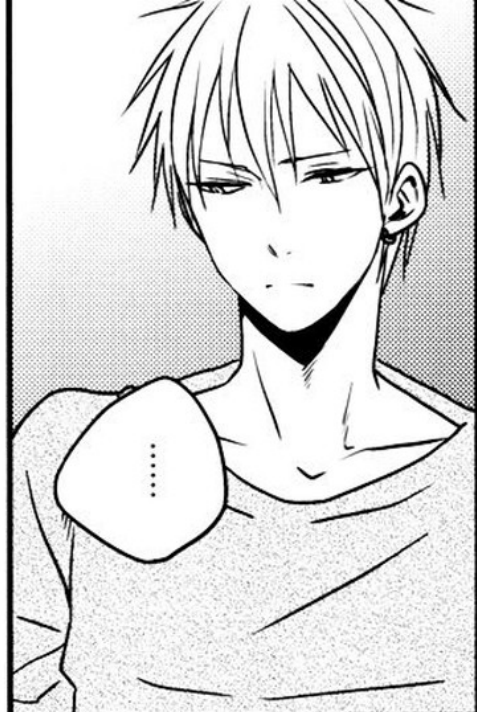
ふいっ
オマエ
ゲームの才能
ねえよ

下手すぎ



あー
負けた！
バスケも勝てねーし
ゲームでも負けるし
つまんねえっスよ！

あー
負けた！





そうッスね
沸いたかも…



オマエ
アタマ沸いたか？

…は？



冗談で
終わらせようと
思ってる？

とか言っ
て



…悪いけど

冗談じゃ
ないッスよ

本気





オレが気持ちよく
させてあげる

なにもかも全部
忘れるくらい



いいぜ
好きに
しろよ





え...



いーぜって
言ったんだよ



全部忘れるくらい

来いよ
黄瀬



オレを
気持ちよく
させてみるよ

は

は



は

は

は

おしい



は...

声：
我慢なんて
するから
苦しいんすよ



ん

ん



は

は



指だけで
イけそう
じゃん…

ねえ…
アンタほんと
こっち初めて
なんスか…?

は…

はア

は

は

は



あはっ
だって…



は

は

てめ…
ふざけ…

調子に
乗って、んじゃ
ねーぞ…っ!

は



アッ

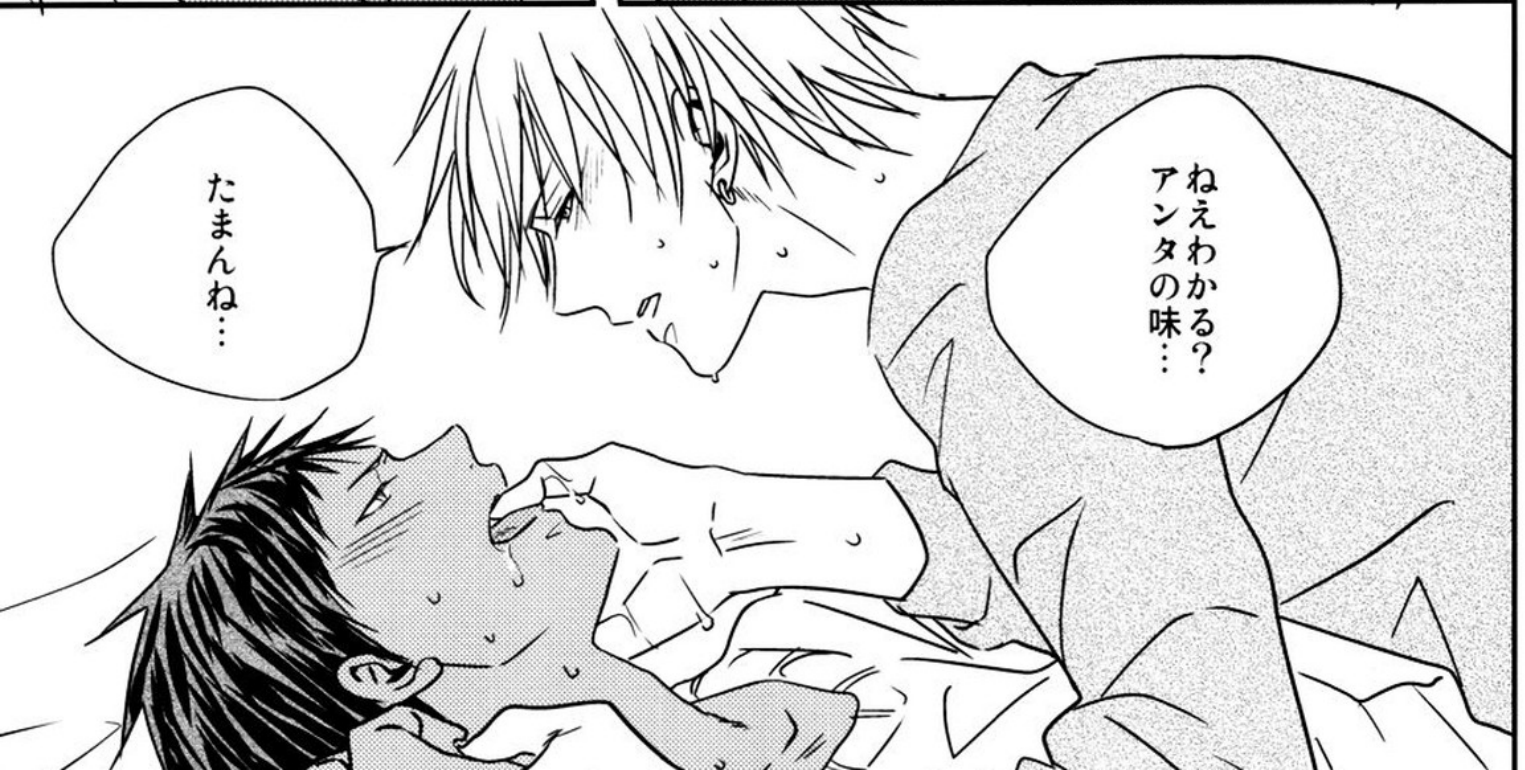
アッ

アッ

アッ

ほら、ね?

ハッ









おまえに
言われなくても

死ぬほど気持ちよく
してやるつってんだよ



そうっすね…

全部
ぶっ飛んじゃう
くらいの
気持ち
いいの



全部忘れる
くらいのするって
言ったのは…

黄瀬だろ…?

ちゅぽ

ちゅぽ



セックスしてまどろんで
目が覚めたらまたセックスして

腹が減ったと何かつまんで
眠って起きたらセックス

粘膜が爛れるくらい抱きあった



まるで
猿かなにかの動物に
なったみたいだ



腹が減ったら
食べる

疲れたら寝る



後は全部――

逃げたいのか
逃げたくないのか

終わりたいのか
終わりにたくないのか

それすらも分からなくなるくらい

一枚のガラスで
遮断されたこの部屋の中は
とても穏やかだ

あと一日ってだけで
こんな風になっちゃまう
もんなんだな

人間っつーのは

……

ハタから見ると
ひでしなどは
思うけど

でもぶっちゃけ
オレも青峰っちが
いなかったらさ

今ごろ何してたか
わかんねえっすよ



だってオレ
アタタのこ
ずっと好き
だったんよ

ふは…

ふーん？

ふーんって…
返事軽くないスカ

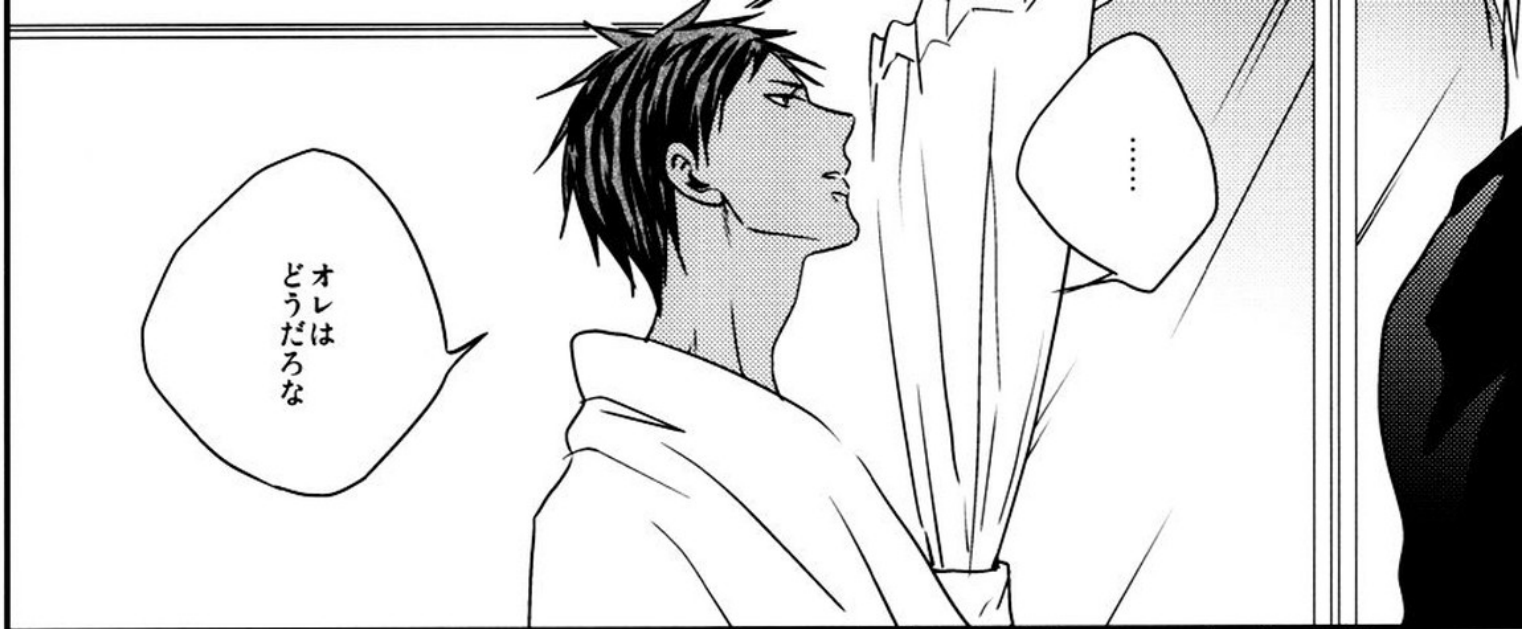


中学の時
初めてアタタのプレ
見た時から

ず——っと

ず——っと
片思いしてて
ず——っと
好きで

だから
今わりと
こんな状
況で
アレすけど
わりと幸
せ
っつーか…



オレは
どうだろな



やること
ヤっという
んなこと
言いたくねえけど

正直オマエのこと
好きかどうかは
わかんねえよ

……
どうって……



こういうときは
嘘でもいいから
好きって言っとけば
いいじゃん……

ほんっと
馬鹿正直……



あは……



でも

…あー

こんなときに
嘘言っちゃって
仕方ねえじゃん



中学ん時
1対1
よくやったなとか

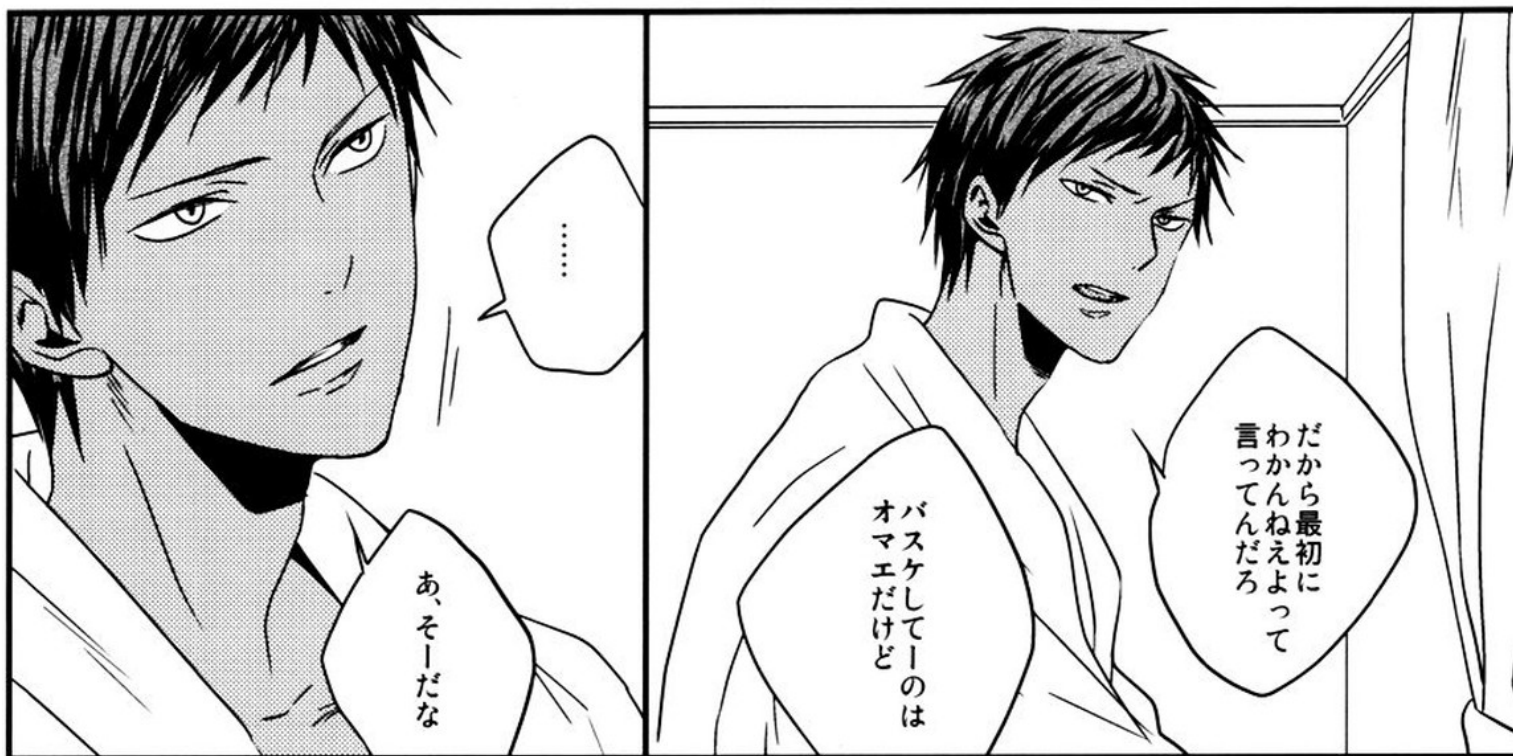
でもこれで
最後だと思ったら
真っ先に浮かんだのが
おまえの顔だったな

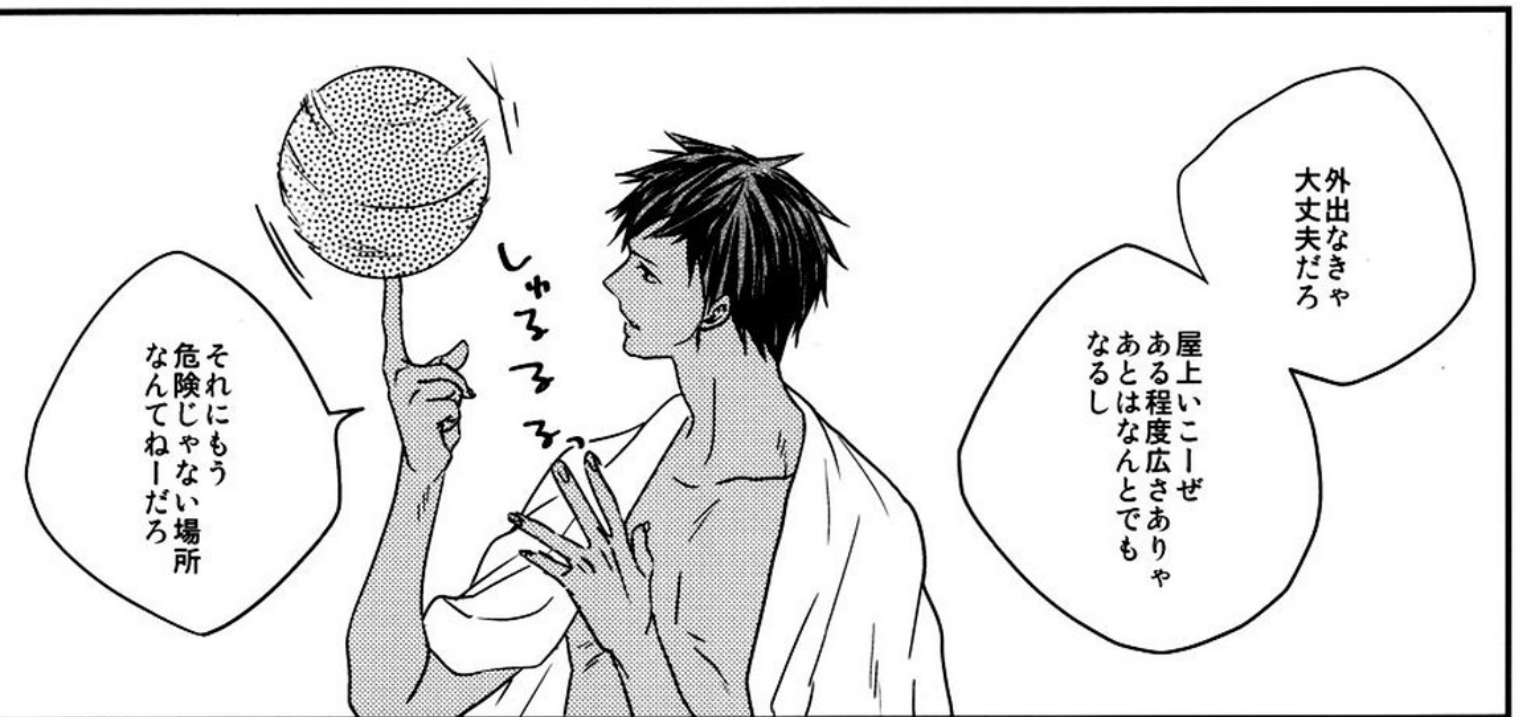


恋愛とかよく
わかんねえけど

最後に会って
バスケットするのは
オマエだなんて
思ったんだよ

オマエと
バスケットするの
楽しかったなとか







死んだら
なんかと
どもでもいい
けどよ

まだ
生きてるうちは
やりてーこと
やろうぜ



オマエさ
オレに勝ちたかった
んじゃねえの?

これマジで
最後のチャンス
だぜ?

ほら

えっ!?

わっ

ほっ

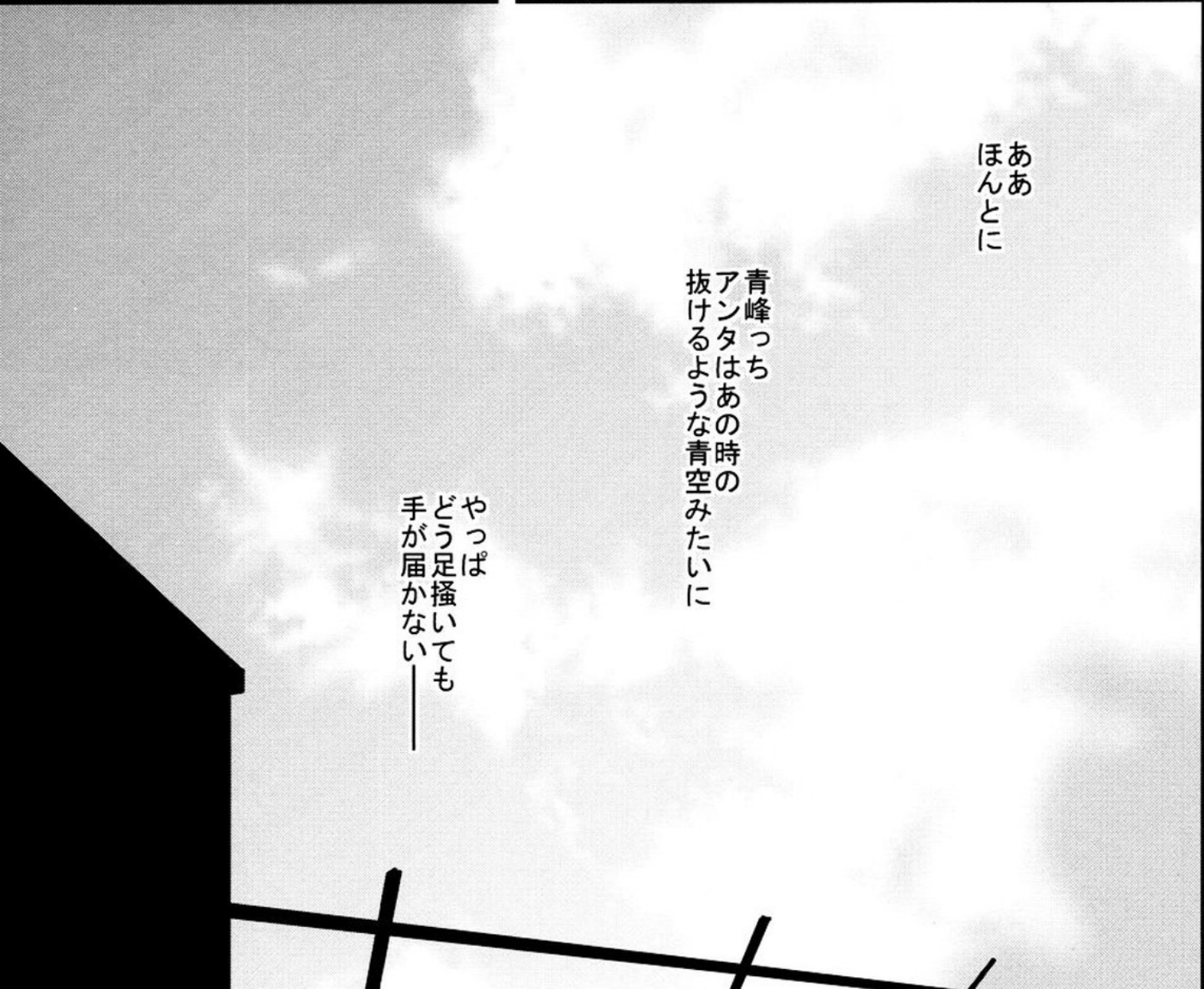
ああ、ほんとうに



ほんとに
強くてかつこいいんえね



こんなタイムリミットの
音が聞こえる時ですら
アンタはあの時と同じで

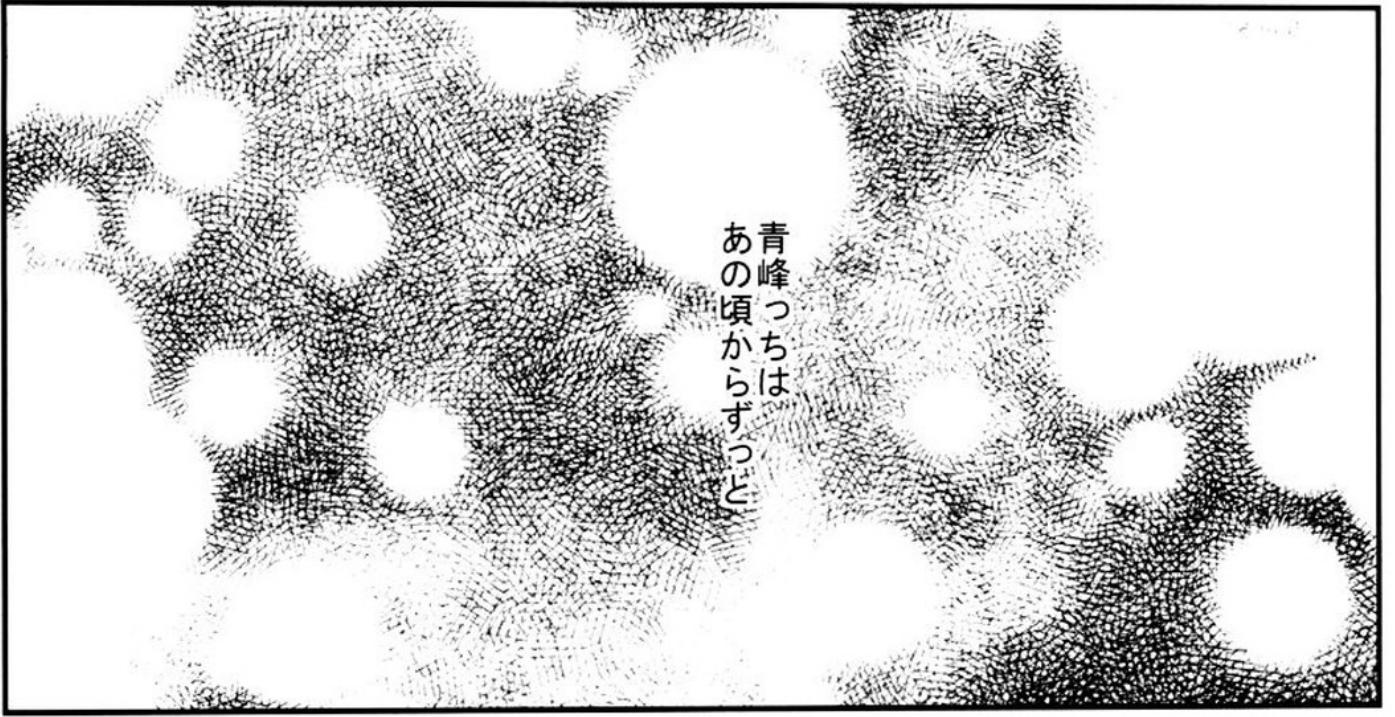


ああ
ほんとに

青峰っち
アンタはあの時の
抜けるような青空みたいに

やっぱ
どう足掻いても
手が届かない——

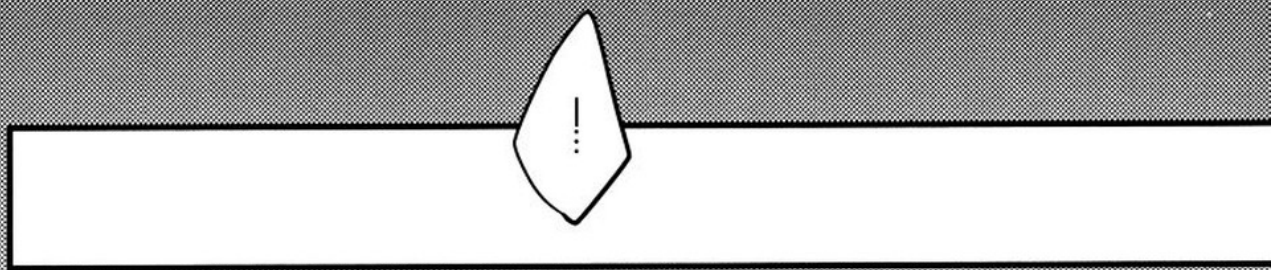




青峰つちは
あの頃からずっと

オレの一番の憧れの人だよ









青峰っち…

…え

世界の終わりは…?



え、じゃねーよ
起きろって

そろそろ
帰るぞ

…え？



なんだオマエ？
何言ってるんだ？

オマエ部活中
アタマ打って
ぶっ倒れたの
覚えてるか？



あ？



は？

…







世界が終わる夢
見たんす

へえ…

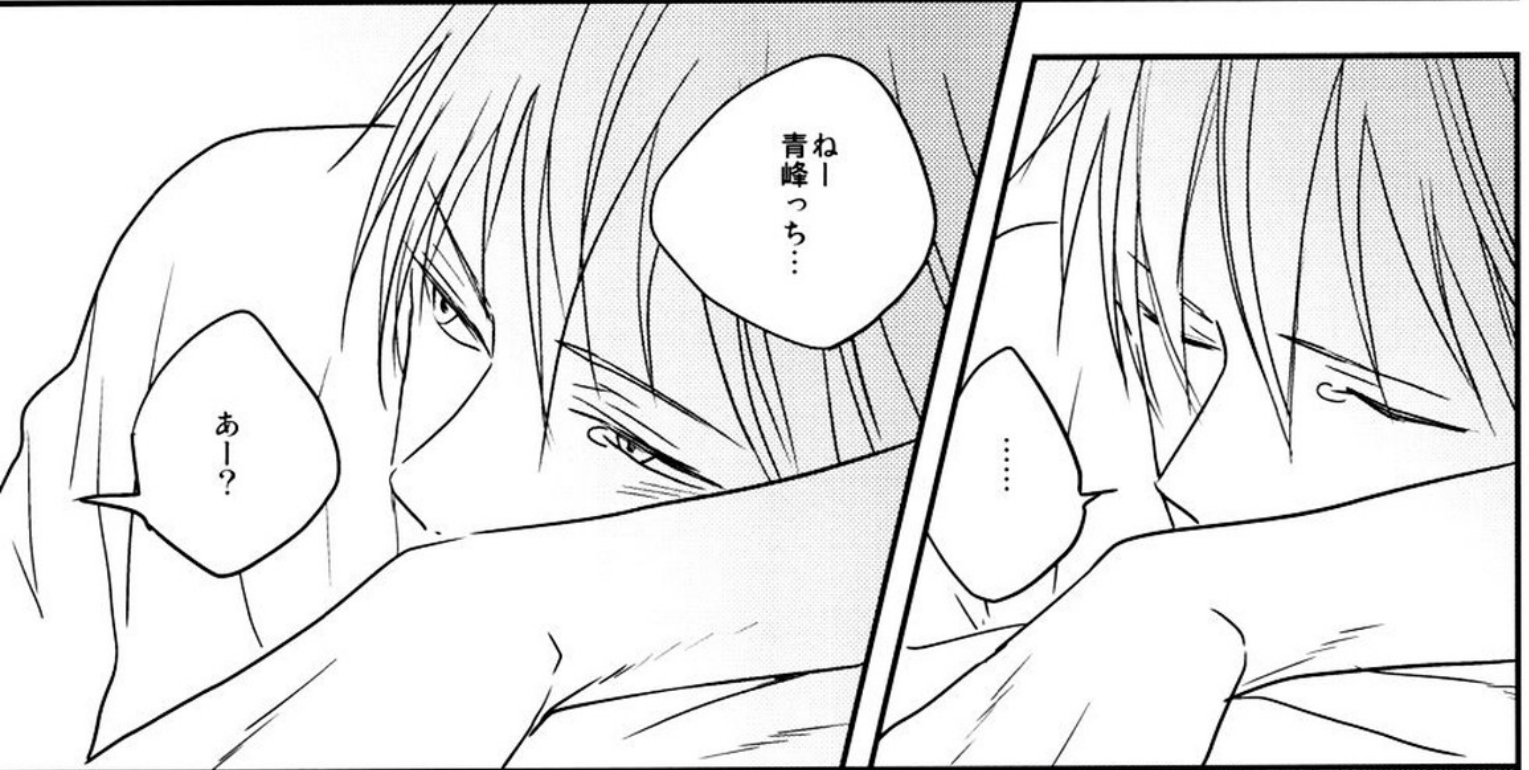
そりや
物騒なことで

自分で聞いておいて
その反応は
酷いと思うっすわ…



は…
さっきから
なんなんだよ

何で夢見て
泣いてんだ
子供かお前は



ねー
青峰っち…

あー？

…



明日
この世界が
終わるって
知ったら

青峰っちは
どうする？

はあ？



青峰っちは
どうすんの
かなって思っ
て



テストだりいから
学校爆発しろって
思っても
なくならねえから

オレの経験上
多分世界も
終わんねえと
思うぞ

いや
そーなんすけど



あー？
…世界の終わりなんて
言われてもなあ…

なんもしねえ
んじゃねえ？



じゃあ
黄瀬とバスケ
しに行くか



……あー



……



お、
夕焼けすげえ



どうせ最後なら
バスケットしてーし

ニヤー！

あと最後なら
黄瀬もマジで本気で
オレに勝ちに来るだろ？

そしたら結構
面白れえん
じゃねえ？



あーあ



最後にすげー
本気のバスケ
出来たら

多分もーオレは
それでいいわ

かっけえの…

そういうこと
本気で言うんだ
もんな

ずっと追いかけて
好きで
好きで

届きたくて
届かなくて

焦がれてた
青峰
背中

キッ

最後の最後にオレと
バスケットすること
を選んでくれんなら

じゃあさ
青峰

今
その背中に

今
触れてもいい？

触れても
いいかな

その唇に
夢じゃない今
もう一度

黄…





青峰っち

もう
負けねーって
決めたんすよ

ああ!?!
っへ



でも
オレ…



オレ
青峰っちのこと
好きなんすけど

オレ
アンタにだけは



だから
こんくらいじゃ
負けねえよ

もちろん
今みたいな
意味で



は?
し

う
…
う
…

好きだよ
青峰っち

だってもしかしたら
明日事故って
死ぬかもしれない
じゃないっスか

もしかしたら本当に
明日世界が
終わるかも
しれねーじゃん

マジでオマエ
アタマ平気か？

トッ
トッ

……

マジマジ

世界で一番
好きっスよ

後で
後悔する
くらいなら

ぶは

最後の瞬間まで
攻めて



とりあえず
次んなことしたら
本気でブッ飛ばすぞ
テメエ

あれ?
次ダメなんスか?

攻めて

攻めて



今の流れで
次があると思ってる
てめえの脳味噌が
怖エよ...

医者行っとけ

攻めまくって

最後の最後に
アンタのゴール
奪ってやるんスよ

まあ
いーや
帰るぞ

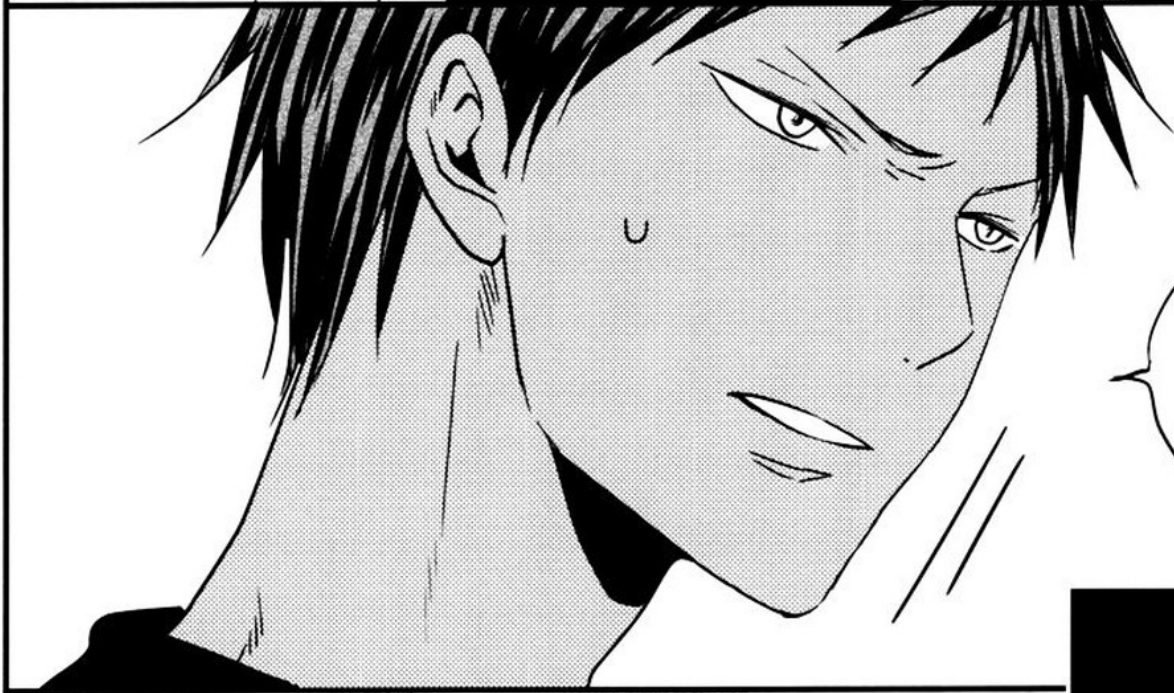
送ってくれる
んスよね

脳みそ以外は
元氣そうだから
てめーは一人で帰れ

ひっどオ!




手つないでいいかな？



...

負けねえっスよ

は
し
し
好きにしろ…



青峰っち
世界の終わりに笑うのは
オレっスよ

でも出来れば
アンタも一緒に
笑ってほしいスけど
どうかな？

end.

20130503

oniyuri presents

KISE x AOMINE

R18

THE BASKETBALL WHICH KUROKO PLAYS

unofficial fanbook #10

LAST DAY

oniyurimail@mail.goo.ne.jp

pixiv:1772513

print:西村勝写堂様

20130503

KISE x AOMINE
R18

oniyuri presents

THE BASKETBALL WHICH KUROKO PLAYS.
unofficial fanbook #10

